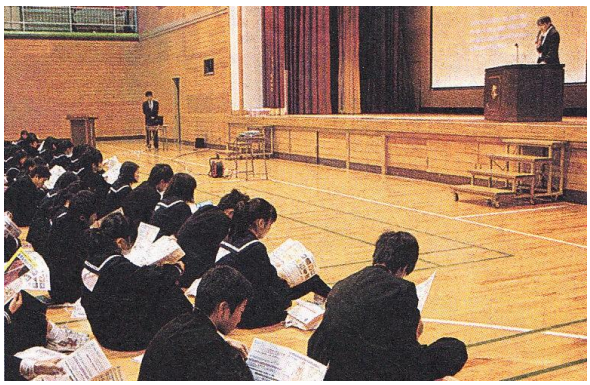
薬物乱用防止教室

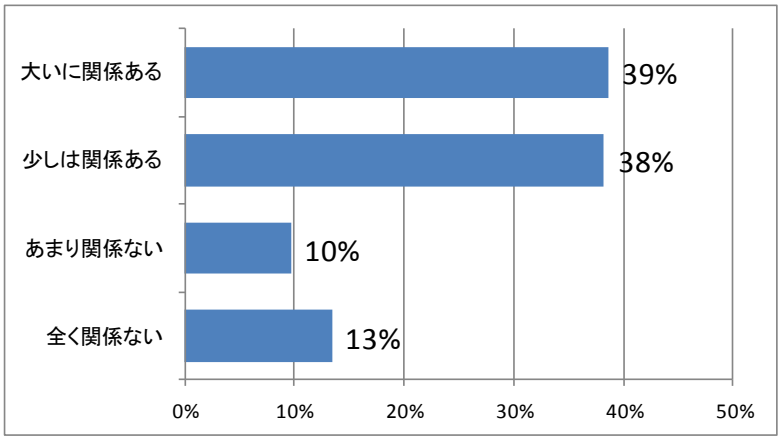
１１月１７日(月)　５限



全校生徒を対象に、高岡警察署員の方から薬物の危険性についての講話をしていただいた。危険ドラッグに関する DVD の視聴も行い、薬物の依存性や、身近に潜む怖さ等について学んだ。３年生は、薬物に関する啓発パネルの見学も行った。

薬物乱用防止教室終了後に、生徒は振り返りカードを記入した。
その回答結果から、生徒は、薬物の危険性について、認識を深めるよい機会になったのではないかと思う。（約２割の生徒が、「自分に関係ない」と感じていることも少し心配ではあるが・・・）

Q　薬物に関する問題は自分にとって関係のないことだと思いますか



(全校生徒対象)

＜感想＞

・薬物に関わらないため『自己判断』が大切だなと思った。富山でも薬物を服用して逮捕された人がいると聞き、私たちの知らない間に薬物が近づいてきていることが分かった。とても人ごとではないことだと怖くなった。
・薬物は自分には絶対関係ないと思っていたが、富山県の女性が死亡したと聞いて、決して油断してはいけないと感じた。１回だけならやめられると思った時点で、やめられなくなってしまうことが分かった。薬物乱用の恐怖を知り、これ以上苦しむ人が増えない世の中をつくっていくべきだと思った。